

洗馬地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時 2025/11/17 19:00～20:10頃

○場所 洗馬支所

○参加者 37人

○説明者 市長、企画政策部長、建設部長、農林部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

皆さん、こんばんは。市長の百瀬でございます。1日のお疲れのところ、また外は小雨まじりの中、タウンミーティングを開催しましたところ、多くの皆様にお越しいただきまして誠にありがとうございます。タウンミーティングであります、10月20日から開催いたしまして、市内10地区へ回ってきており、今日が洗馬地区となり、最後になってしまって申し訳ないですが、10地区目のタウンミーティングとなりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

※(省略)洗馬地区の説明(別添資料)

※(省略)令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

お時間をいただきまして説明を駆け足でさせていただきましたが、まずですね、区から要望をいただいておりますのでそちらにお答えをしたいと思っております。

まず、洗馬地区の人口減少対策ということで、1つ目が農業の担い手、後継者対策です。レタスのトップブランド野菜を維持するため、新規就農者や後継者に対する住宅地や農地確保の支援策をお願いしたいという要望をいただいています。まず農地の確保支援策であります、産地保全支援員という者が市役所にいまして、農業委員会と連携をしながら農地の貸付や、耕作継続が危ぶまれる農地の情報などの取りまとめをしており、新たに農業をやりたい方とマッチングをするという仕組みをしております。新規就農者に対しても農地の借り手農家に対して奨励金を交付するなどの取り組みを行っています。令和6年度の実績で、市全体であります、支給対象面積が91ヘクタール、およそ715万円を新規就農者の関係で進めております。農業は厳しい状況に置かれていますが、食べるもの、第1次産業というのは非常に重要な産業ですので、私どももできる限りのことをしていきますが、やらなけれ

ばならないことがたくさんあると思っております。農協さんとも連携しながら、進めていきたいと思っておりますし、レタスは今年5月から調整に入るという非常に厳しい状況に置かれました。農家の収益性が見えてこないと農業をする方も増えていかないと思っておりますので、収益性の確保も大きな課題だと思っております。

それともう一つ、公共交通の利便性、すてっぷくんととのる一と、地域の需要に応じた公共交通の維持・充実化とその解決に向けた運行ルートの最適化や、利用者増の取り組みをお願いしたいと、また持続可能な移動サービスの仕組みの構築をお願いしたいといただいております。

まず移動支援につきましては、洗馬地区はすてっぷくんしかないという状況でございます。来年度ダイヤの見直しをする予定でありまして、地区の中で打ち合わせをしております、来年度すてっぷくんの一部の便を岩垂経由コース、上組経由コースに変更し、乗車時間を短縮したり、塩尻駅の最終便が今16時40分ですけれども、17時30分と、50分後も塩尻駅からバスが出るような改正を目指しているところでございます。そしてもう一つは今、バス停まで行くことができない、そういう方がいらっしゃいますので、住んでいるところとバス停をどう繋ぐかが大きな課題であります。そういった中で洗馬地区、地域の皆さんが運転をさせていただいて、有償の運送にならない範囲内なので非常に低廉な金額になってしまうんですけど、そういうサービスをいただいております。ギャザやビッグに行っていたいたり、そんなサービスもありますけれど、そういうものをうまく融合させて公共交通を立てていかなければならないと思っております。移動ができるまちというのは非常に強いまちだと思っております。私どもの行政の力だけではやはり足りないところを住民の皆さんとうまく連携をして、この地区の公共の交通を維持していかないといけないと思っております。

この公共交通に関しましては、様々なところ、今回タウンミーティングでお話をいただいておりますので、大事な課題と捉えております。やはり収益性というものがある程度見ていかないと、ボランティアのような価格ではなかなか継続性がなく、そんな課題も感じております。そういったところの面も今後しっかり検討していかなければならないと思っております。

そして3点目ですけれども、空き家対策、洗馬地区で空き家バンクを活用した移住者の実績はあるか、今後の人口減少対策として住宅建設の補助をお願いしたいというのがございます。まず空き家対策であります。市で平成28年度から令和6年度までの空き家バンクへの登録は37件、成約による空き家の解消は33件で、市が確認している移住者の数は17人と、そ

ういう状況になっております。また住宅の補助の関係については後ほど建設部長から話をいたします。

そしてもう1点目が生活環境の整備ということで、沓沢湖の跡地の利活用について事業推進をお願いしたいということでございます。沓沢湖であります、現在土地の所有者はご存知の通り、松本市の奈良井川土地改良区の管理となっておりますが、堤体が耐震に耐えられないということで平成25年に貯水を停止し、その後用途廃止をしております。沓沢湖を活用できていない状況でありますけれども、やはりあそこが樹木が繁茂してきたり、野生動物の住処になってしまうような可能性もありますので、ここは他の地元の方からも要望をいただく予定になっておりますけれども、使い方を検討していきたいと思っておりますし、市としても土地改良区の許可といいますか、土地所有者の意向も必要でございますので、調整をしていかなければならないと思っております。沓沢湖の問題も長期に渡る問題になっておりますけれども、解決を優先すべき課題だと感じておりますので、しっかりと皆様方の意見を聞きながら利活用を進めてまいりたいと思っております。

今駆け足でお話をいたしましたけれども、区長さん方の方で何か追加のお話やここを答えて欲しいとか、そんなお話がありましたらお願いしたいと思いますが、その前に住宅の補助の関係だけ建設部長から話をいたします。

建設部長

私の方から人口減少対策としての住宅建設補助という形で要望いただいております、住宅建設というのは直接的に個人資産になってしまいますので、誰でも住宅建設すれば補助を受けられるといった補助制度は今市にはございません。ですが一部、結婚新生活支援事業ということで、新婚であって、さらに夫婦ともに29歳以下の場合については、住宅を建てた方や中古住宅を購入されるときに、最大で70万円の補助を受けられるといった補助制度がございます。あと共に39歳以下という制限はあるのですが、住宅を建てた方、中古住宅を購入されたといった場合に最大で40万円という形で補助制度がありますので、ぜひそういった方がいれば補助制度を利活用していただくようお願いしたいと思います。

市長

住宅について説明をいたしました。区長さん方の方で追加等ございますでしょうか。ではこれから皆さんと対話をしながらタウンミーティングを進めていきたいと思っております。

忌憚なく意見をぶつけていただければ、こちらの方もお返しできると思いますので、ぜひともよろしくお願いいたします。

市民

上小曽部にいます。よろしくお願いします。3点ほどありますが、1点目は先ほど市長さんも言われた移動支援の関係ですが、私ども地域を上げて進めておるところでございますが、まだまだ駆け出しということで、いろいろな部分でまだ課題がございます。その中ではやはり行政の皆さんからも応援をいただかなければいけないですし、最終的には、公共交通との絡みもしっかりやっていきたいなと思っておりますので、市との二人三脚をしっかりやっていきたいなと思っておりますので、ぜひ今後もいろいろな面で支援をお願いしたいなと思っておりますのでよろしくお願いします。

それから2つ目でございますけれども、今盛んに騒がれているクマの関係もありますけれども、洗馬地区管内も有害鳥獣ということで、特にクマもあちこちは出ていますけれども、まだ人身被害はないということでありますが、特に猿の関係につきましては、上小曽部に行きますと、サルが多いのか人間が多いのかというようなことで、大変に苦慮しておるところでございますので、有害鳥獣関係につきましては速やかな対応をしていただきながらですね、地域も上げてそれぞれ追い払いなどをしてはおりますけれども、まだまだ追いつかない部分もありますし、行政の方でやっていただかなければいけない部分ということもあろうかと思っておりますので、ぜひそんなところにつきましては、スピーディーな対応をしていただいて、住民が安心して暮らせる体制づくりができればと思いますのでよろしくお願いをしたいなと思います。

それから3つ目ですけども、自分で言ってしまっただけで申し訳ないんですけども、3つ目は自分も財産区をやっている関係上ではありますけども、洗馬地区にも松枯れがだいぶあちこちと広がってきている中で、上小曽部、下小曽部を中心にお助け隊で現在伐倒処理をしておりますが、私も今回一員として参加させてもらっておりますが、なかなか急斜面でいろいろ持ち上げたりして、大変な作業をしておりますご苦労いただいておりますし、自分もやらせていただいて、大変だなということを痛烈に感じておるところでございます。対策につきましては、今現状はなかなか伐倒が緩衝体を作るしかないなと思っておりますが、その辺もやはり後々になってきますと、後手後手は禁物でございますので、ぜひ積極的な対応をしながらですね、やっていただければありがたいなということでございますので、ぜひお願いをしたい

と思います。3点、意見も絡んでおりますので、お答えできる部分があればお願いをしたい
と思います。

市長

ご意見ありがとうございます。まず1点目の移動支援の関係でありますけども、本当に二人三脚で取り組みを進めていきたいと思っております。本当はエリア内のおじいちゃんおばあちゃんを、ステップくんのバス停まで連れてきて、そこから行きたいところまでうまく繋げるような仕組みを組みたいのですけれども、お客様のニーズって結構多岐にわたっておりまして、なかなか公共交通とマッチングをするのが難しいという状況も理解しております。これはどういうふうにするのがいいのか、しっかりお話をしながら進めていきたいと思っております。今もまだ1人200円とのことですが、地区によっては料金を少し上げるような地区も今回出てきましたので、またそういったような状況も見ながら進めていきたいと思っております。

2点目の有害鳥獣の関係であります。サルはやっぱり非常に賢い動物でありまして、人が取ろうとする前の日ぐらいに持って行ってしまったり、あとはもう取らないんだけど、いたずらで投げてしまったり、非常にやっぱり作物を作っている方にとっては、モチベーションが下がってしまうという問題があります。GPSを付けてサルの居場所を追える仕組みがございますが、先週の金曜日にGPSが取れたということで、後ほど農林部長から話をしたいと思っておりますし、クマの件数も今年、昨年度より34件多い85件ということで、目撃情報が寄せられております。こちらの対策もとらなければならない大事なところでございます。

財産区の関係で、松枯れのお話もありました。今、松枯れが出たという各地の本数と処理できる本数が逆転をしてしまっております。これは松の木を対策する人も足りないというところがありますので、今守るべき山の区別もしながら対応しておりますけれども、いわゆる白骨化と言いますか、松本の中山とか、高速で長野方面へ行くと見えますけれども、ああいう状態は極力防ぐようにしたいと思っておりますし、塩尻がいくら頑張っても、近隣の自治体で頑張らないとやはり防げないという状況でございます。市としましては次の対策の関連経費は12月補正で増額をする予定でいますので、議員さんがお認めいただければと思っておりますので、そんな形で松枯れも止めていきたいと思ってるのですが、今限界に達してきております。実は木曽の方から檜枯れが入ってきてしまいまして、檜川地区では今回初めて檜枯れが発見されております。山を取り巻く状況は非常に厳しいと思っております。本当は40年ぐ

らいで1回切って再造林しないといけないのですが、塩尻の平均樹齢はもう70年を超えておりまして、山の中も非常に高齢化社会になってしまっていて、そうすると松枯れもあるし災害にも弱いので、そこまでしっかりと山が回っていくように、財産区のお力も借りながら進めていきたいと思っております。サル GPS の関係は補足をお願いします。

農林部長

サル GPS について、でございますけれども、今まで GPS の発信装置が取り付けられていたサルがいたのですが、その発信装置が寿命で使えなくなってしまう、サルの居場所が捕捉できない状況になっておりました。ちょうど先週金曜日にサルが1匹捕まりまして、発信装置を取り付けることができました。試しに今日、マップを見ましたら、しっかりと捕捉することができておりました。今後は、地元の皆様と協力して先回りの対応をしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

市長

また、マップの見方とかそういったものも、支所を通じて回覧板等で回すような対応をしていきたいと思っております。GPS が付いたサルがいますと、おおむねの行動パターンとかが見えてきたりもしておりますので、そちらのマップの方をしっかりと見て対策をとれるような形で進めていきたいと思います。

市民

松枯れ対策に関して、私の知識不足で申し訳ないのですが、松枯れ対策というのは松枯れが見えたものを切って消毒をしてやるっていう方法だけなのか、一番初めは消毒をするというのがあって、それは近隣住民から反対されてできなくなりましたよね。今もそれは変わっていないのか、これだけ広範囲に渡って出てきてしまうと、どこか規制するのかわからないけど、守るというところは、そういった消毒も加味できるのかどうかっていうところ、その辺の現状をちょっとお聞きしたいのですが。

市長

まずはおっしゃる通り、松枯れの木を見て倒すという対応法がありますし、樹幹注入とい

う木の幹に薬を入れて、松枯れを措置する方法、そして消毒といいますか空中散布があります。空中散布は非常にハードルが高く、いろいろな皆さんのご同意を得る範囲が非常に広いですし、計画をしっかり立ててやらなきゃいけないということで、市では今実施していないという状況でございます。補足があればお願いします。

農林部長

やはり松枯れ対策につきましては、予防散布と伐倒駆除を同時並行で進めるというやり方が主流となります。ただ、先ほど市長が申し上げたとおり、予防散布としての空中散布はハードルが非常に高くできない状況になっておりますので、現在は、伐倒駆除を中心に進めております。

全国的には明治時代から松くい虫による松枯れ被害は発生しておりまして、西日本から徐々に北上して現在に至っておりますが、実は全国の自治体の中で松くい虫に勝利したところは一つもございません。ですので、我々も精一杯でき得る限りの対応はしておりますし、これからも続けてまいります、いつかは限界が来るのかな、とみてはおります。

市民

市としてはハードルが高すぎて動けないと思うことですから、でも盛り込んだところでやっていかないといけないのかなと。四賀とかね中山の方を見れば、ああいう状態を他の地区でも起こしたくないなというのがありますので、ぜひその辺も含めて検討いただきたいなというふうに思います。

市長

最善をやっぱ尽くしていきますけども、限界もあるという現実にも直面しております。しっかりと松枯れ対策もやっていきたいと思いますが、今そういう状況でございますのでご理解いただきたいと思います。ありがとうございます。

市民

農水省の統計かどこか忘れてしまったのですが、10年後の農家戸数というのが今の10分の1、それから耕作地が3分の1減ってくるという中では、塩尻市の農業としては、これから大

規模を目指していくのか、大規模を目指すには法人化をしたりとかいうあるんですけども、なかなか6次化しても野菜の場合は6次化は難しいなど。果実とか米とかはいいんですけども、野菜の場合はなかなか6次化という取り組みができるのかできないのかわからないのですけども、その辺塩尻としてはこれから大型農業を目指していくのか、例えば農業トラクター1つ買うにも1000万とか2000万とかかかってしまうので、なかなか個人でも手が出ないというような時代になってくるかと思います。もし考えがあればよろしくお願いします。

それからもう一点、空港の問題なんですけども、松本市はなかなか空港対策があって、しっかりやっているというふうに思うのですけども、塩尻市は空港対策があるのかなのか、それともこれから松本市のようにまだまだ滑走路の延長というのは見えてこないのですけども、将来的に伸びた場合、例えば堅石・郷原・岩垂の辺りは条件闘争をしていけるのかということをやっと教えていただきたいと思います。

市長

ありがとうございます。まず一点農地の集約化の関係でありますけれども、集約化は今進めていく方向でありますし、またいわゆる農地の区画整理みたいなことをやった実績がありますので、集約化は必要で、農業も生産性を非常に高めていかなければならない分野だと思っています。一方で今動きがあるのは、吉田のタウンミーティングでお話したのですけども、おばちゃんたちがグループを組んで小規模で米を作ったりとか、そういう動きも出てきておりますので、大規模化と兼業である皆さん両方を双方向で回していけないといけないと思っています。

あと、松本空港の関係であります。塩尻には地元の対策委員は今ありません。この後ですね、空港の滑走路を延長するという話も出てきておりますけれども、伸ばすとすると松本側で、洗馬側ですと山がそもそも近過ぎて滑走路を伸ばしてもなかなか飛行機の運航はできない、そんなお話をいただいております。そういう話が出てきたときは、洗馬地区はもちろん堅石・郷原など、平成にジェット化したときに地元の対策協議会があって、その際にやったような手法で地元にはしっかりと説明をしていきたいと思っております。説明をしていながら進めてまいります。まだ具体化しているものが何もないというそういう状況でもございます。そのときしっかりと地元の皆さんの総意を受けて進めていきますし、空港のジェット化以外でもですね、やっぱり地域の皆さんの生活に影響のあるものはしっかりと丁寧な説明が必要だと思っております。ありがとうございます。補足で農地集約化の話を差し上

げます。

農林部長

洗馬地区におきましては、近年、洗馬妙義地区の土地改良事業を大々的に手がけております。おかげさまで、地元の皆様からは9割以上の合意を頂戴できたということで、中信平土地改良区が中心になって令和10年度の完了を目指しているという状況でございます。この土地改良事業において整備された圃場が使いやすいということで、非常に評判がいいということを知っておりますし、改良区が最初に声掛けをしていた桔梗ヶ原地区の方からも、自分たちも手がければよかった、というような声も頂戴しております。農業基盤をまず整えることによって営農環境が整って、そして、後継者が引き継いでいく、という好循環が生まれるものとみております。今後の洗馬妙義地区の動きには大いに期待をしているところであります。

ご質問のございました、大規模化を目指すのか、それとも、小規模継続でいくのかどちらか、ということでございますけれども、私としては両方の農家が大事だと思っております。もちろん、中小規模の皆さんから、今後、離農して土地をどうしたらいいだろう、という相談があった場合には、新たな農業者をあてがいマッチングを図っていくつもりではあります。そこがハード的に整備されている大規模の区画であれば、経営的には非常に効率が良くなるので農業法人も誘致することができるかもしれない。平地の農業であればそれは可能だと思います。ただ、本市のように中山間地も多く抱えているような地域では、やはり中小規模の農家の皆様も大事にしていかなければいけないと私は思っております。国の方でもその点、中山間地域等直接支払制度等で支援をしております。今後どのようなパッケージが展開されるか動向を注視しながら、国県とともに支援に努めてまいりたいと思っております。

市民

それからやはり人を雇用しなくちゃいけないということで、私も外国人を2名ほど雇っているのですが、今国の方では1500円にしろよということを言っているのですが、なかなか農家で1500円を払っていくっていうのはこれから至難の業で、今年の春のようだと2人も雇っていると真っ赤になっちゃうということで、市の方で中小企業に払うような助成が何かあればいいのかなというふうに思っていますけれども、農家に対するそういう助成とかはないわけですかね。

農林部長

外国人雇用に関しまして、農業分野で何か支援策があるか、ということではありますが、今のところ市農林部としての支援策は特にございません。ただ、中小企業支援の観点からは、商工観光部で支援事業があるかどうかということになろうかと思います。そちらの分野は私の立場では知り得ませんので、また後ほど確認させていただいて、見えそうな支援策があればお伝えいたします。

市長

国が積極財政ということで舵を切って、ここで新しい政策が補正予算で出てきますので、そういうものも見ながら進めていきたいと思っております。ありがとうございました。

市民

いつもお世話になります。クマ対策の件で、実は今年、つい最近も下小曾部で出たということで、特に通学路の関係で対策をしていただいて、小学生の皆さんは11月いっぱいまでバス利用できるようにしてもらいました。ありがとうございました。実は7月にもう少しで人災になるくらいの被害が出ました。そのときに檻を設置していただきたいということでやっていただいたんですけども、ドラム缶の檻なんですけども、ドラム缶の檻はやったんだけど次の日にクマの足跡がついているんですよ。でも檻に入らないということで、実は先日、小諸市のニュースで市と同じドラム缶の大きさのものと1週間やっても10日やっても入らないのが、次の日に大きいドラム缶にしたら、もう翌日入ったという話がありました。ですので、その辺は市でどういう対応を今考えておるのか、もしそれができれば、今年私達も3ヶ所ほどドラム缶の檻をやっていただきましたけども、1回も入らなかったということで、その辺をもう少し他地区の状況を見ながら検討していただければ、大きな被害にならないうちにできるんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。

市長

ありがとうございます。クマは最近非常に出没が相次いでいて、皆さんの生活を脅かす状況になっております。東北の方に行きますともう捕殺する頭数が桁違いで、ある自治体も300頭ぐらいクマを捕殺しているとのお話も伺いました。今いわゆる檻の話がありましたけれ

ども、ドラム缶ですとか箱わなとかいろいろありますが、ちょっとまた詳しいところで部長の方から話をします。

農林部長

クマ檻につきましては、私の方でサイズの把握ができていなくて申し訳ありません。ただ、私が見たことのあるクマ檻は、小さなドラム缶を転用したような形状でありました。大きなドラム缶を使ったものがあるのかわかりませんので後ほど確認をさせていただいて、また、小諸市の事例なども研究させていただいて、本市でも成果を上げることができるよう対応を指示したいと思います。

市民

その小諸市のニュースでは、今話題の公務員の専門職の方がやったところが、もう翌日すぐできたという実績があるそうなので、検討していただければいいかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

市長

承知いたしました。ドラム缶でなくて本当の檻のような罠がありますので、秋田で自衛隊の隊員が設置したといったところも研究をしていきたいと思っております。それとハンターの話がありましたが、市職員でも1名だけ狩猟免許、ハンターの免許を持っている職員がいます。ガバメントハンターという言葉がありますけれども、市の方でもそういうのを希望する職員がいるかどうかを募って、育成もしていかなければならないと思っておりますし、いわゆるハンターに対するその謝礼とか報酬そのものが低いという構造的な問題もありますので、またクマ対策は国でパッケージでまとめるということがありますので、しっかりと対応を取っていき、皆さんが安心して暮らせるような地域を作っていかなければいけないと思っております。

市民

日頃は洗馬地区の農業生産に様々な分野で協力をいただいておりますことを感謝します。ありがとうございます。今まで区長会から始まって諸々の意見の中に、やはり農協と行政が

タイアップして事を進めなさいいけないなっていう部分が多々ございました。その中でやはり販売する野菜に対しての鳥獣被害というのが、それぞれ行政組合の反省会等々ありまして、そんな意見が出ておりました。非常に先ほどから話がありますクマ、それからサル、カモシカ、イノシシ全てのものが出るというような状況の中で、植えた物は端から抜かれる、完熟したところは葉っぱからみんな食べられてしまう、イタチ返しというようなことでやられている方がいて、先ほどの沓沢湖の跡地という云々から始まってですね、それぞれ関連してくるかと思えますけれども、そのこのところを鳥獣被害の対策の指定地域みたいなことをしてもらって、何とかその被害を最小限にできないかというようなことで、その長崎地区の方はそれぞれ市の方にも要請をかけて、出向いて見ていただいてあるというようなことを聞きましたけれども、農協全体としましては、やはりカラスをはじめ鳥獣被害というのはあらゆる作物に出てきておりますので、行政を通じて何とかその部分の対策を早急に打っていただくようなことができればと思っておりますので、よろしくお願いをいたしたいと思えます。

市長

ありがとうございます。今販売する野菜の鳥獣被害のお話がありましたけれども、やはり売り物が売り物でなくなってしまうので、非常に由々しき問題だと思っております。また部長の方からですね、今長崎の方から話が来ているということでお話を差し上げます。

農林部長

あらゆる鳥獣の被害に遭っている状況は、由々しき事態だと思っております。特に、農家が来作への営農意欲を削がれてしまう、という点が有害鳥獣の一番いけないところでありまして、来作に繋げるためにも、やっぱり、今作で何とか有害鳥獣の被害を食い止めることが大事なことであると考えております。

そのためには、「自助・公助・共助」の取組が必要となります。

まず、「自助」は、電気牧柵や物理柵を使って防ぐということ。カラスやサルになると3次元の攻撃が入ってきますのでなかなか難しいところありますけれども、とりあえず四肢動物、四つの足で歩く動物であれば、おそらく電気牧柵が効果的です。

次に、「共助」は、皆さんと一緒に動いていただくこと。地元の皆さんでの追い払い対策が必要です。出たところで追い払うというやり方だと、どうしてもイタチごっこになってしまうので、日ごろから追い払い活動を地元の皆様のチームで取り組んでいただくことが一つ

大事なことになるかと思います。

最後に、「公助」は、私どもの市補助事業の活用であります。電気牧柵や物理柵を設置する経費に対して、個人の場合は2分の1以内の補助、複数の方々が共同で設置する場合は3分の2以内の補助、いずれも上限が10万円、20万円となりますけれども、農家あるいは農地であればその補助事業が使えるようになっておりますので、ぜひこれらの取組を複合的に組み合わせていただきながら対応していただきたい。また、市の鳥獣パトロール員なども随時対応支援させていただきますので、ご活用を検討いただければと思います。

市長

あと万が一有害鳥獣にやられてしまった場合に、農業共済に入っているとおそらく補償の対象になると思ひまして、農業共済の加入の促進のための補助は持っておりますので、そういった面からも周知をしていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

素人の話なので話半分ぐらいに聞いていただければいいかと思いますが、まず市の発展として、人口がどんどん増えていった方がいいのか、それとももう横ばいで、資料を見ますと97.6%、やや減という状況の中で、私も不勉強で市の人口が6、7万なのかわかりませんが、市が発展するにはどんどん人口が増えていった方がいいのかなというふうに思いますが、それも少子高齢化で税収も増えないので、それもそれでまた市の負担もあり困るし、でも新体育館の周辺を通ると新しいうちが建っていて、人口って増えてるのかなって思いながら見ていたんです。今空き家対策もいいんだけど、要するに子どもが増えないと人口って増えていかない。例えば南箕輪村とか宮田村とか、非常に若い世代がどんどん入って子育てをしているような話をちょっと前に聞いたこともあるんだけど、子育てに対する補助や、塩尻市内に産婦人科があるのかないのか、子どもが産める状況があるのか、またはそこで子どもを産んで育てていくのに、例えば出産費用にいくら補助があるとか、第何子までは教育費が無料だとか、医療費が無料だとかそういったことをしない限り、塩尻市で家を建てて子どもを育てるという状況にはならないと思うんです。それがもちろん働く場所も必要ではあると思うんですけども、市の魅力といったもの、もちろんやっではいるとは思いますが、てっきり人口増えているかと思ったら増えていないし、少子高齢化も今の日本全体の傾向なんだけども、若い人を定着させて、そこで人口を増やしていかないと、市の負担も増える気

がするので、そういった意味で何か支援対策とかを充実していかないといけない気がして見えています。

市長

ありがとうございます。人口に関して申し上げますと、今人口はおおよそ6万5000人ですが、人口のピークが平成17年、塩尻市と檜川村が合併したときが人口のピークでありまして、そのときは6万8900人いました。そこから今、ちょうど20年経ちますけれども、3900人減っています。3900人がどういう人数かといいますと、片丘地区が3600人なので、片丘地区一つ分が市から無くなっている、それくらいの人口減少の規模です。大体毎年400人ぐらいずつ、0.6%ぐらいずつ減っている状況でございます。人口が多いか少ないかどちらがいいかというと、やっぱり人口は自治体によっては一番の活力でありますので、多い方がいいです。そのために取り組むことが、今おっしゃっていた子育て支援策であったり様々な政策でありますので、人口の増えるようにしていきたいと思ってるんですけども、日本全体で人口が減っているのも、自治体同士の取り合いみたいなのところになってしまっている感もありますが、選ばれる自治体になるために、進めていきたいと思えます。

人口ですけれども、このまま減っていきますと、2040年、今から15年後には、6万人を切ってしまうという推計を持っています。それが少しでも上振れするような政策を進めています。そういう中で、産婦人科がないというのはやっぱり一つの弱点ではありますし、大きな病院が実は市にはございません。いわゆる2次病院と言われるところが、一番近くても松本医療センターになってしまいます。そういった医療的な状況は非常に弱いのですが、産婦人科がなくても生まれるまでは近い婦人科で検診をしてもらって、産むときは病院に行っていただくとか、そんな仕組みは構築しております。しっかりと子どもが増えていくようなまちを作っていきたいと思っております。子どもの人数も10歳は大体500人から600人いるのですが、今0～3歳児は400人ぐらいで、この10年間だけでも子どもの数が200人ぐらい減っていて、それくらい急激に少子化が進んでいますので、今お話いただいたように市を発展させていくためには、人口というのは根幹でございますので、その対策をしっかりと進めていきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

あとは住むところのお話がありましたけれども、実は塩尻駅前が坪20万円に上がってきてしまっていて、とても若者が買える値段になっていません。安曇野が大体、高いところで坪12万円ぐらい、伊那に行くと8万円ぐらいです。土地は供給していかないといけないと思っ

ておりますので、農協さんの土地だったりそういうところに期待をしておりますし、宗賀でも大きな分譲で坪7万5000円の分譲がじわりじわりと売れてきていますので、そういった住宅をうまく供給して、洗馬にも住んでもらえるような仕組み作りも大事だと思っております。洗馬は都市計画区域外ですので、家の建てやすさでいうと、調整区域に比べて立てやすいという土地柄でありますので、土地の特性も生かしながら進めていきたいと思います。

市民

よろしくお願いします。私の家の話で恐縮ですけども、子どもが里帰り出産をしようとして、2人目の出産ですが、1人目の子どもは茅野市の保育園に行っていたのですけども、その子どもを塩尻市内で預けようと思って、最初妙義保育園の方へ預けたいということでお願いをしに行きました。年少の子どもなんですけれども、そのときは妙義保育園は難しいというふうに言われまして、今度2回目に宗賀と広丘南保育園の希望を出しました。どちらも駄目ということで、今度3回目に他の受け入れられるところはどこですかということで、広丘地区と吉田地区の保育園を紹介してもらいまして、今そちらの方へ送迎してるんですけども、そこでお聞きしたいのが、市役所の方に出向いて、例えば妙義と希望を出したときに、その場で今は妙義が無理で、可能なのはこの保育園になります、っていうことができないかということがまず一点です。3回書類を持って市役所に行きましたので、それをできれば1回もしくは2回という、うちの子どももそのときに1回目で妙義が駄目って言われたときに、じゃあどこが可能なんですかっていうふうな言い方をすればよかったのかもしれないけども、結果として、3回目の希望でやっと預けられる形になりましたので、その辺のところが1回とか2回で可能なのかっていうことをお聞きしたいのと、もう一つは妙義の年少にもう今受け入れられる人数の枠があまりない状態で、聞いたところによると、他から転入されてくる子どもたちのために若干の空きは作っておかなければいけないとのことでした。うちの子どもの場合は11～1月までの3ヶ月間の保育になるものですから、それもあってちょっと懸念されたというか、難しいというふうに言われたっていうこともあるかと思いますけども、今の皆さんのお話の中で、これから転入してくる可能性がある場合はありますので、例えば転入者が一度に2人とか3人あった場合に、年少の保育士さん1人が見られる枠を超えた場合に、もうひとクラス作ってもらえるのかどうかっていうことも併せてお聞きしたいです。

市長

本当に貴重なご意見ありがとうございます。まず最初に、何回も市役所に行っていただいて手続きされたことをお詫び申し上げます。基本的に一度に済むようにしていますし、4月のときは定員が定まるのですが、年度の途中はどうしても待機というか、希望園に入れない状況が出てきております。また地域のいろんな状況とか人口の動態をつぶさに見て原因を把握しておりますが、一つ大きな課題が、保育士がいなくて定員を増やせないという非常に厳しい状況になっております。そういうところを勘案しながら保育のサービスが受けられるような仕組みを作っていきたいと思っております。また一時的保育とかそういったものを充実しておりますので、そういった制度を使っていきたいと思っておりますので、今のご意見をいただきながら、また保育課ではしっかりと窓口の対応のあり方を、あと保育の需要と保育園の定員がマッチングするようなところは非常に大事なところでございますので、しっかりと進めていきたいと思っております。先ほどもご質問いただきましたが、子どもたちにも選ばれるところが住みよいところになっていきますので、今のお話は真摯に受け止めて進めてまいります。

市民

それと、塩尻市は諏訪地域とか松本地域とかにも通勤しやすい場所ですし、電車を使えば15分20分くらいで諏訪とか松本に行けるところですし、木曽地域からも移住される方がいると思いますので、ぜひそういったプラスの面も利用しながら、やって欲しいなっていうふうに思います。

市長

ありがとうございます。せっかく来ていただいたのに、保育園がなくて場所を変えていくといったことがないように努めていきたいと思っておりますし、松本市とも今、保育の関係では連携をしております。塩尻でいっぱいあれば松本で受けてもらって、逆に塩尻に空きがあれば松本の子どもを引き受けたりと、広域的にも子育ての支援をやっておりますので、ご理解いただければと思います。

市民

広丘堅石から来ました。洗馬は素晴らしい歴史のあるところだとしみじみと感じました。

ここに犬養木堂の書がありますね。何でも鑑定団に出したらいくらになるか、このように思いました。私も洗馬のレタスをPRした1人としてここに出席させていただきました。旭日小綬章をいただきました元市議会議長に対して心から哀悼の意を表し、黙とうを捧げ、天国から洗馬地区の発展を祈ってくれと訴えるものでございます。黙とうとさせていただきます。ここまで言うのは差し控えていましたが、この正面にカレンダーがあります。これは長野県警に乞われて無料でポスターのモデルになったわけでございます。これから誠心館道場の顧問として百瀬市長の決断力は素晴らしかったということを申し上げ、お礼をさせていただきます。実は2人はオリンピックの選手に決まっていたんです。東京から誠心館道場を希望して決まったら、そしたら、長野県の柔道連盟と、中信地区の柔道連盟が壮行会から全てやると言ってこられた。そこで誠心館道場の師範と私と相談して、こんなことをやったら松本に取られちゃうんじゃないかと。百瀬市長に直接相談してくれということで、秘書広報課に行ったら、忙しいとか言われたのですが、百瀬市長がご飯食べてお茶飲む時間があるじゃないか、その時間をくれと言ったら、何事が起こったかとのことだったので、慌てて市長に、市長こういふことで、やっていただけるかやっていただけないか即答してくれって言ったら、やりましょうとすぐ即断をしていただきました。この決断力は、私は素晴らしいと思います。

ところが、決算を見たら2000万の赤字だったのです。そこで議長が議会で予算をつけていただき、また、金メダル報告会に2万人集まったパレードもやっていただき、全国に放送され、またカナダにまで報告されたことは本当に感謝にたえません。市長、議長ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。そして、壮行会、各種団体また、前農協の常務、ありがとうございます。洗馬のレタスを山ほど、体重制限をしている本人またスタッフに届けていただきました。洗馬のレタスというのは素晴らしいということを。東京からカナダまで知らせていただきましてありがとうございました。それからまた洗馬のレタスのことを言いますと、百瀬市長が課長のときに、洗馬の農協組合長常務が衆議院議長公邸におきまして、洗馬のレタスを国会議員に配りまして、リピートまで来ております。また、毎年毎年やっておりまして、今年も12月8日にはまたレタスと蕎麦を持っていかなければいけないので、洗馬のレタスをまたご協力をよろしく願いいたします。そんなことで洗馬のレタスということは、日本一でございます。

それから先日、川上村と話しました。川上村は、やはり外国人を多く雇って川上村の高原野菜を作っております。川上村にはモデルがあります。ですから1500円では農家が潰れてしまうということで今切実な意見が出ましたが、塩尻モデルを作って、農家を繁栄させてくだ

さい。まず、農業が発展しなければいくら百瀬市長が若くて長野県に誇る市長であっても、農業が衰退していれば、塩尻市は駄目になってしまいます。塩尻市といえど何でしょうか。まずレタス、それからワイン、ブドウそば切り発祥の地の塩尻、そのレタスが滅びてしまえば、塩尻市はつぶれてしまいます。塩尻市の洗馬農協は昔はものすごく力がございまして、松本市農協へお金を貸してたような状況でございまして。どうぞ洗馬農協、洗馬のレタスの発展のために命をかけてやっていただきたいと思いますと思います。

市長

ありがとうございます。今レタスの関係のお話をいただきましたけれども、私もやはり農業はすごく大事だと思っておりますので、洗馬のレタスのためにですね、しっかりと取り組みをしていきたいと思っております。それで大変申し訳ないのですが時間が迫っておりますので、ちょっと簡潔にお話をいただければと思います。

市民

はい。先日、11月13日の市民タイムスを見ましたら、イチヨウ並木が素晴らしいといった田川高校が出ておりました。そしてまた、その新聞には県立高校再編計画について、懇話会で基本計画を承認したと言われております。ところが、以前関係者が大々的に、志学館高校に中高一貫校教育ということを打ち出されました。その時私は、キャリア教育推進協議会の会長をやっております、全力で応援しますと、実現をしてくださいと言ったのですが、そこでもう決まってしまったという市民タイムスを見てがっかりいたしました。この発言に対して、百瀬市長が了解していたのでしょうか。市の理事者、教育委員会が了承していたのでしょうか。その後の実現のためにどれだけ動いたのでしょうか。それをお聞きして終わらせていただきたいと思います。以上です。

市長

ありがとうございます。貴重なご意見いただきました。レタスの関係、繰り返しになりますが、しっかりと市のトップブランドとして盛り上げていきたいと思っております。皆様方のご協力をお願いいたします。

あと中高一貫校のお話がございましたけれども、中高一貫校を作るには、既存の公立の中

学校が非常に大きな影響を受けるという点もございまして、市の中ではお話をしましたけれども、なかなか実現するには非常に厳しいものというふうに捉えております。関係者も個人的な発言ということを前置きした上で発言をしたものでございます。現在は、中高一貫校を作る予定はない状況でございますのでご理解をいただければと思います。県との協議もしましたけれども、なかなか県も屋代と清陵で中高一貫校を作りましたけども、これ以上中高一貫を作る予定はないというか、これ以上は増やさないという方針もありましたので、今は進んではいません。

市民

校名が変わるのですよ。

市長

校名は決まっていますので、これからの話になります。

市民

伝統ある塩尻志学館高校を残していただきたい。それから塩尻から田川高校という1つの高校がなくなる。非常に寂しい。

市長

それは皆さんがそういうお気持ちを持っていらっしゃいます。私も高校が今3校ありまして、1校減るということは非常に忸怩たる思いがございましてけれども、これも少子化の結果でありますので、きちんと志学館学館、桔梗ヶ原高校の歴史も重んじていきながら、新校の再編に県と一緒にやって取り組んでいきたいと思っております。

お時間も過ぎてしまいまして大変申し訳ございませんけれども、洗馬地区タウンミーティングに多くの皆様のご参加をいただきましてありがとうございました。また貴重なご意見をいただきました。私どもも、市だけでできることというのは非常に限られておりまして、やはり地域の皆さん、市民の皆さん、事業者の皆さん、農協の皆さん、いろんな皆さんの力があって進めていくものでございます。こういった意見を様々な場面でいただければと思います。私も洗馬地区文化祭などいろんなところで顔を出したりしますので、行き会いましてら

声をかけてもらって、忌憚ない意見をいただければと思います。私も洗馬地区のために全力を尽くして頑張ってまいります。本日は誠にありがとうございました。